

社団法人 西大寺青年会議所 広報誌

SAIDAIJI JC REPORT

2006年度スローガン

ONE FOR ALL ALL FOR ONE

～上を向いていこう～

**理事長 中村千晃**

基本方針

- [指導力] リーダーシップ
- [人間力] 会員拡大
- [地域力] 地域再認識

はじめに

私達（社）西大寺青年会議所は、今、大きな転換期を迎えようとしています。会員の約半数が1年未満の新会員となり、理事のほとんどが新しいメンバーとなります。組織構成や事業内容を改め、新生（社）西大寺

青年会議所に生まれ変わります。温故知新の精神で失敗を恐れずに邁進していく決意です。また、本年は15年ぶりに会員大会を主管することとなりスローガン ONE FOR ALL ALL FOR ONE のもと一致団結し、西大寺らしさを失わず精一杯がんばる所存です。

[指導力] リーダーシップ

JC が地域社会に信頼される JC であるためには、3信条「修練」「奉仕」「友情」をもう一度思い起こす必要があります、それこそがメンバーの成長の基本だと思います。私が思うに JC は、自分を成長させてくれる組織であり学びの場、研修の場であります。組織作り、事業の計画、会議の運営、3分間スピーチ、などを通じて数多くのことを学んでいます。その中でも特に大切なのがリーダーシップだと考えます。リーダーシップとは「指導力」メンバーの進むべき方向をハッキリさせ、メンバーのベクトルを一致させ、集団目的を実現する力。「統率力」目標を達成するため、メンバーをまとめ運動ルールや役割分担を決め決定事項を守らせ、維持し、指揮する力。「影響力」目標を達成するとき、他のメンバーの運動に最も強く影響を与えるメンバー個人の力。この3つがあると思います。昔からリーダーに求められる資質は「熱意」「誠意」「創意」の3意と言われます。組織の中でリーダーシップを学ぶには、私は、自己啓発より相互啓発の方が良いのではないかと思います。スポーツでもライバルがいてこそより上のレベルに到達できるのです。お互いに切磋琢磨し、リーダーとしての資質を身につけましょう。

[人間力] 会員の拡大

厳しい時代と共に各青年会議所でも会員の減少という問題に直面しています。現在、当 LOM が抱える1番の問題も会員の減少です。私が入会した14年前の最盛期に比べると3分の1の会員数となりました。先輩方の英知と勇気と情熱から受け継いできた素晴らしい伝統・歴史を引き継いで行く為に

も会員の拡大が急務となります。会員の減少により、1人ひとりに掛かってくる負担が大きくなり、従来どおりの運営は困難になってきています。1人ひとりがJCマンとして誇りを持ち、自身の人間力を創造することで人をひきつける魅力が生まれます。メンバー全員がそのような気概を持ち、(社)西大寺青年会議所の志を引き継いでくれる仲間を探し増やそうではありませんか。また、出会い感動が少なくなっています。来年は岡山ブロック会員大会を当LOMが主管します。これを機会に、先輩、ブロックメンバー、人とのふれあいを大切にしてコミュニケーションをとっていきましょう。

〔地域力〕 地域再認識

JCは特別な団体ではありません、地域の一部であり、地域を知り、学び、地域と共に歩み、地域と共に栄え、そして地域に必要とされるJCでなければなりません。その中で自分達は何が出来るのかを考え、地域との調和をとりながら進んで行きたいと思えます。この素晴らしいブルーエリアの環境とそこに住む人々を大切に思い、多くの人達に情報発信していきましょう。

さいごに

現在、私達を取り巻く社会的、経済的環境は緩やかな回復をしていると言われていますが中小企業にとっては景気の回復感を実感することは依然として厳しい状況です。しかし、ここで立ち止まることはできません。このようなときこそ、上を向いて歩んでいこうではありませんか。



直前理事長 山根祐一

新年あけましておめでとうございます。

昨年度は、理事長として皆様方にご支援、ご協力いただきまして誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

本年度は、直前理事長として中村理事長が活躍できるようLOM運営のサポートをさせていただきたいと思えますし、またLOM一丸となって事業を行わなければならない岡山ブロック第42回会員大会主管事業他、多くの事業を全面的に支えていきたいと思えます。

そして、在籍13年目となります今年、最終年度になりますので悔いの残らないように、また、今まで多くの皆様にお世話になりましたので恩返しの意味でも昨年以上にがんばります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



副理事長(地球ふるさと委員会担当) 井上

裕嗣

2006年度、副理事長をさせていただくこととなりました井上裕嗣と申します。

理事のご指名をいただいてから日のない私ではありますが、副理事長の大役をいただき、私につとまるかどうか不安を覚える反面、執行部と委員会とをつなぐ大切な役目を自分なりにしっかりと果たしていかなければ

ならない、と身の引き締まる思いがしております。

昨今の会員数の急激な減少に、委員会数の削減、それにともなう各委員会の受け持つ事業の増加、と現状は大変厳しい状況です。また、これからの数年でロム内の人員構成が、入会して数年の若い世代が主力となる、大幅な転換期を向える（社）西大寺青年会議所にとって、今もっとも気を配らなければならない事は、諸先輩方が行ってこられたひとつひとつの事業の意義を知り、各事業の今までの軌跡をふまえ、それらを大切にしていくことだと考えています。

温故知新、事業を行う人間が変わったとしても、青年会議所運動のあり方や、考え方が変わってはならない、と思います。そして、明るい豊かな地域の実現にむけ、皆で協力していきたいと考えています。

経験不足の私の事、多くの皆様からのご協力なしに副理事長の大役は果たせないと自覚しております。諸先輩方、関係各位の皆様のご指導ご鞭撻の程、心よりお願い申し上げます。



副理事長（地球市民委員会担当） 松本 和生

新年明けましておめでとうございます。今年度、地球市民委員会担当の副理事長をさせていただきます。地球市民委員会担当は、2回目になりますので、前回の反省を思い出し、しっかり勤めたいと思います。

今年から、委員会数が減り、担当する事業が増えるということになりました。新年祝賀会が早速1月にあります。また、「吉井川フェスタ」も当然ありますし、新規の事業として「河口の碑」があります。初めて理事

事となった花島委員長の思いが実現できるようにしっかりサポートしていきたいと思います。

まずは、委員会が一丸となれるように、花島委員長とがんばりたいと思いますので、1年間よろしくお願いします。



会員大会実行委員長 岡田 康志

本年度、ブロック会員大会実行委員長を務めさせていただきます。

2006年6月4日、（社）西大寺青年会議所主管で開催される第42回岡山ブロック会員大会の開催が実行委員会のメイン事業となっております。

当実行委員会の基本方針は「ブロック会員大会を主管することで、県内各地青年会議所のメンバーと交流を図る。また、準備から設営にいたるまで、ホストとしての配慮を学び、会員の資質の向上を図る。」

であります。

LOMにとっても、15年に1度しかない委員会であります。そんなプレミア委員会の長をさせていただくというチャンスを与えていただいた以上、精一杯努力し、また多くのことを学び、そして多くの交流を持ちたいと思っております。

会員大会の他にも、会陽懇親会・例会・OB懇親会…etc と委員会事業は目白押しですが、岡本副実行委員長そして委員会メンバーとともに、1年間頑張っていきますので、皆様のご協力とご支援の程、よろしくお願いいたします。



専務理事 麻岡 正義

本年度は（社）西大寺青年会議所にとってブロック会員大会を主管する特別な1年です。

ONE FOR ALL ALL FOR ONE のスローガンのもと、メンバーが一丸となって、各事業に取り組めるよう、LOM内外にわたって潤滑油として頑張っていきたいと思っています。

1年間よろしくお願いいたします。

発行日	平成18年1月31日
発行責任者	中村 千晃
編集責任者	石井 亮
発行所	社団法人西大寺青年会議所